

茶店活







01



私が喫茶店で
たのむのはいつも
アイスコーヒーか
アイスラテ
どちらも砂糖や
シロップは抜き



しかしたまに…

アイスのコーヒート
とかモカとか…

一口に
コーヒート
言っても

いろんな
種類があるよな

よし！
ならば今日から私は
喫茶店大好きっ子クラブだ
堂々と喫茶店大好きと
宣言しようではないか！

アイスコーヒー
ばかりの人が
喫茶店好きを
名乗るのは
おこがましいだろか

などという
小さな悩みが
よぎることもある

いやいや…
アイスコーヒーだって
お店ごとのこだわりを
感じる点は多々ある

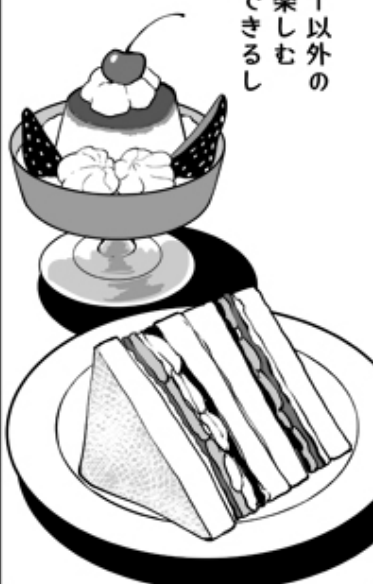
むしろそんなことを
気にすることが
喫茶店様に
申し訳ないのでは？

カラン

いろんなコーヒー
について語れたり
焙煎や入れ方に
着目する
ディープな
喫茶店の楽しみ方
もあるだろう



コーヒー以外の
軽食を楽しむ
こともできるし



楽しむ以外に
商談や会議に使ったり
勉強をする時に
使うこともあるだろう



喫茶店大好きっ子クラブの
私はこれらを立派な
部活動として
見ていこうじゃないか



などという
ぼんやりとした
コーヒータイムの
妄想から始まった
「茶店活」語りを
していこう



この部活動のことを
これから「茶店活」
と呼ぼう！





カフェ・喫茶店・純喫茶の違い



実は…以前はあったけど今はないのです
以前は食品衛生法で区別されていました



飲食店営業

一般食堂、料理店、寿司屋、蕎麦屋、旅館、
仕出し屋、弁当屋、カフェ、バー、キャバレー
その他食品を調理し、設備を設けて客に提供する営業

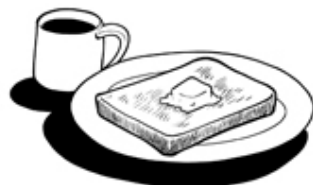
喫茶店営業

喫茶店、サロンその他設備を設けて酒類以外の
飲食または茶菓を客に提供する営業

できることは
多いけれど
飲食店営業許可
の方が取得は
難しいです



カフェはお酒や食事を提供することができたけど
喫茶店はケーキやクッキー、トースト
などの軽食しか提供できませんでした



しかし2021年に食品衛生法が改正され喫茶店営業は飲食店営業に統合され
カフェも喫茶店も違いはなくなりましたが
調理やアルコールの提供にはどちらも許可が必要となっています

● 純喫茶とは ●

大正から昭和にかけての喫茶店はアルコールの提供もあり
女給の接待を売りにする現在のキャバクラのような
風俗営業をするところもあったため
コーヒーや軽食だけを純粹に楽しめる「純喫茶」
を名乗り差別化したもの

着物に洋風の
エプロンつけた
女給さんファッション
がわいて好き。

コーヒーだけでなく
食器などの細部まで
こだわりを感じる
純喫茶に出会うと
幸せいっぱいになる

今でも「純喫茶」はそのスタイルを
くずさずレトロな雰囲気を楽しむ
喫茶店であることが多いと思う



こどもの茶店活



「プランタン」
検索する
喫茶店がいっぱい
出てくる
出てくる

フランス語で春を意味する
「プランタン」
喫茶店としての歴史ある
お名前であるためか
国内各地の喫茶店に
よく見る名前です



私の大好きなプランタンは
愛媛県の今治銀座商店街の
入り口にありました
(今はもうありません)

大丸で
お買い物後は
プランタン

おそらくそんな
喫茶店の一つ
だったのだろう

当時の地元の人に
しか分からないこと
だと思っけど...
大丸百貨店の前に
あったんだ



♪ ぷらんたん ♪
♪ ぷらんたん ♪

まだ幼稚園児くらいの頃から
連れて行ってもらっていた所
なので記憶はぼんやりだけ
店の前にしゃがんで

と茶店活のおねだりを
してみました

日本初の喫茶店は
一八八八年(明治二十一年)
現在の上野に開店した
「可否茶館」と言われている
しかし経営が振るわず
四く五年で閉店している



そばが二銭の時代
アラクコーヒーが一銭五厘
牛乳入りコーヒーが二銭と
かなり高価だった

文学者や芸術家が
集まって芸術談議を
する場所が
作りたかったそうなの
その後
一九一一年(明治四十四年)
東京銀座で日本初のカフェ
「カフェー・プランタン」が開店



その後一九二三年の
関東大震災で消失して
移転したり
女給の接待中心のカフェー
が全盛となると
「カフェー」の名称をはずし
喫茶店「ル・プランタン」と改める

震災後は一時期
麻雀に興じる人が
集っていたこともある



日本麻雀の黎明期

そんなハイカラ飲料を
楽しむ喫茶店という空間

しかし

お腹いっぱいになっちゃうから
クリームのところは
抜きにしようねー

とずいぶん
あっさりしたものに
されてしまった



クリームメロンソーダ

とはいえ
小さい子どもに
コーヒーはまだ早いと
メニューから選ばせて
もらったのは

これー
これ飲みたい！



ぞも

みどり
きれー♡

それは
それで
満足

子どもの目にこぼは
大人のお洒落が
詰まっているように
見えていた

これがだいたい
一九七〇年代
クリームソーダは
明治時代にすでに
あったようだが

この頃からも



今そんな
色のついたのが
あるんだねー

電気冷蔵庫の普及とともに
おこった「かき氷ブーム」で
明治屋がかき氷用シロップ
として「マイシロップ」を
発売し全国的に広く認知
されたのがこの頃なのだ
(…なのでたぶんね)

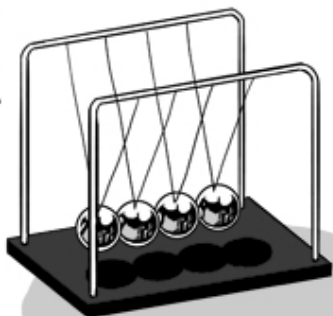
×ロソ、レモン
イチゴの
3種類あった



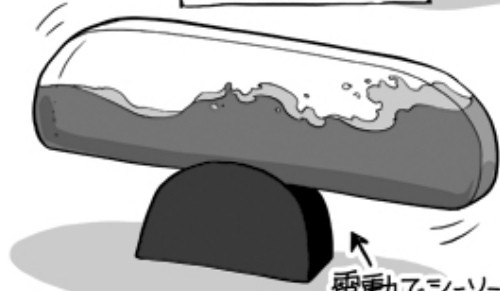
まだまだいろいろあ、たけど、
とくによく見たのさ...

ニュートンの
振り子

今でも見る
振り子のおもちゃ



オシャンウェーブ



オイルと香い
色つき水か
はいていて
波をつくる
オブジェ

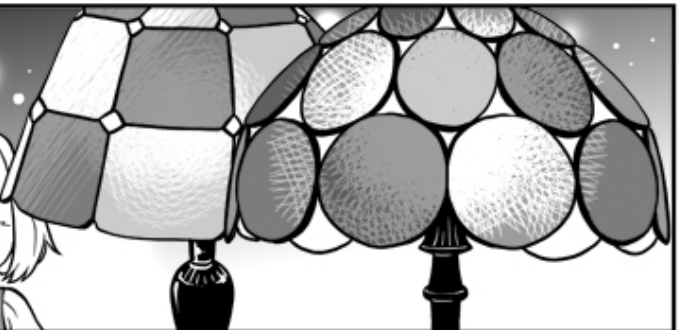
電動でシーソーみたいに動く

店内のあちこちに
置かれてはいる
時代ごとの流行の
インテリアに
ワクワクしたり



白状すると実は... おとなのおもちゃ、てこういうのだと思、てた...

薄暗い店内に
ステンドグラスの
照明の明かりが
作り出す非日常感



でもそんな
こともほいこと
このおしゃれ空間で
したくない...でも...

さわりたい...
思いきり
キラキラを
わびたい



特に好きだったのが
グラスファイバーの
テーブルライト



わさわさした
グラスファイバーの
先端がほちほち
光ってかわいかったの